

日本海の護りの要所・舞鶴湾に浮かぶ無人島「蛇島」を核としたレガシー形成構想

事業概要

- 中世から近現代、水軍から海軍に至るまで、日本海の護りの要所であったという歴史をもつ唯一の島「蛇島」において、蛇島城の復元整備および日本近代化の躍動を体感できる象徴的な島を活用した市内観光資源周遊の仕組みを構築するための実現可能性を調査する

マーケティング調査

マーケティング調査によるターゲットの設定

項目	日本人観光客	外国人観光客
年代	➢ 20代・30代	➢ 20代・30代
性別	➢ 男性	➢ 男女を問わない
居住地	➢ 近畿・中国エリア	➢ 東南アジアを中心に、東アジアや欧米
備考	➢ ターゲットの居住地として、まずは近畿・中国エリアと設定していますが、 将来的には四国・関東・中部エリアからの誘客を狙うことも可能 と考えられます	➢ 舞鶴市を聞いたことがない、という回答が全体の約8割を占めているため、 まずは認知度の向上から取り組むことが効果的 と考えられます

蛇島整備の方向性

蛇島を「海・港」を活かしたコンテンツの一つと捉え、地域全体の観光の価値を高める新たな1資源と位置づけた上で、初期的には整備範囲は限定し他の資源とも連携して魅力向上を目指す

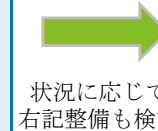
整備の方向性は、下記①～③の調査を通じた課題抽出を経て策定

- ①現地調査
- ②舞鶴市の観光関連団体や類似事例へのヒアリング調査
- ③類似事例のデスクトップ調査



■初期整備イメージ

蛇島城のAR等での体験・階段・展望台整備、ガソリン庫の床面の移動通路整備、限定的なエリアの遊歩道整備、歴史案内板の設置、休憩場所の整備、トイレ（1か所）の整備



状況に応じて右記整備も検討

蛇島城の復元、電動起動機の復元、ガソリン庫を活用したアクティビティ整備、グランピングエリア整備、自然アクティビティ整備、遊歩道の全面整備、ビーチの全面整備、歴史資料館等の整備、食事施設の整備、インフラ等の全面整備

観光プラン案

マーケティング調査結果および現地視察の結果から、市内周遊を見据えた観光プラン案を策定

旧海軍ガソリン庫

体験魅力の課題
ガソリン庫のみ＝航空戦争期

無人島

体験魅力の課題
海洋リゾートは競合過多

蛇島城跡

体験魅力の課題
見えない・確認できない

「稀有な体験」、「今まで自分が知らなかった日本を体験しにやってくる」魅力体験創造方針

街全体と時間から見る戦争と平和

冒険心の醸成、地産の提供

過去の対話、タイムスリップ

①平和学習（学校団体向け）
舞鶴市内の戦争関連遺構・施設を組合せ、軍港整備～戦争～平和への変遷を学ぶ

②文化観光（知的好奇心層向け）
蛇島城の世界観・里村紹巴の紀行を景色・AR・語り部・美食と共に体験する

想定訪問者数

アンケート調査を基に来訪者数の推定を実施

	STEP1	STEP2	STEP3
対象エリア	京都府	近隣エリア ・近畿(大阪/兵庫/京都/滋賀/奈良/和歌山) ・北陸(新潟/石川/富山/福井) ・中国(広島/岡山/山口/島根/鳥取) ・四国(徳島/香川/高知/愛媛)	日本全国
推定来訪者	150,232人	2,116,699人	7,101,524人